



けんこうのてびき

新保保育園

R8年1月

## もくじ

1. 日常の健康管理・・・・・・・・・・・・・・・・P 1
2. 症状別登園のめやす、登園前に体調チェック・・・P2～3
3. 登園してはいけない病気・・・・・・・・・・P4
4. 子どものかかりやすい病気と注意点・・・・・・・・P5
5. 投薬について・・・・・・・・・・・・・・・・P6～7
6. 感染性胃腸炎予防について・・・・・・・・・・P8～9
7. 保育中のけがについて・・・・・・・・・・P10
8. 病児・病後児保育について・・・・・・・・・・P11
9. 予防接種について・・・・・・・・・・P12
10. 感染症発生状況ボードについて・・・・・・・・P12
11. 食物アレルギーについて・・・・・・・・・・P12

園は大勢の子どもたちの集団生活の場です。集団での午睡や食事、遊び等では子ども同士が濃厚に接触することが多く、飛沫感染や接触感染が生じやすいです。風邪などの感染症にかかりやすくなりますが、もしかかってしまっても早めの対応や登園の目安を心得ておくことが、子どもの健康を守り、集団感染を防ぐことに繋がります。このてびきを参考に、元気に園に通えるようにしましょう。

## 1. 日常の健康管理

- 朝、登園したらまず手洗いをします。(感染症予防の基本は手洗いです。) 感染症の拡大状況によってはマスク着用をお願いをすることがあります。
- 登園前にお子さんの体調をみて、元気がなかったり、気分が悪いような日はお子さんのためにも無理をさせずに休ませてください。一日、家庭で様子を見ることで余病やぶり返しを防いだり、感染拡大を防ぐことができます。座薬を入れて熱が下がっても、具合がよくなったわけではありません。できるだけ登園は控えましょう。(P2～3)
- 病気にかかったときは、集団生活での健康管理のため、医師の指示に従って保育園を休ませてください。特に、感染性の病気については医師の許可を得たうえで登園させて下さい。その際「**登園許可証**」または「**療養解除届**」が必要です。(P4～5)
- 薬を飲ませることは『医療行為』になりますので、園では原則としてできません。ただし、日中、どうしても薬を飲ませる必要のあるときは、**投薬依頼書**に必要事項を記入のうえ、職員に手渡ししてください。(P6～7)
- 特異体質や持病のあるお子さんは園にお知らせください。また、アレルギー等で**除去食**が必要な場合は医師からの〈**生活管理指導表**〉を提出していただいたうえで、ご相談させていただきます。(P12)



※ 登園許可証・療養解除届・投薬依頼書は同封の別紙をご確認ください。ホームページからダウンロードすることもできます。

### ☆ 健康診断・検査について ☆

- 嘱託医、歯科医による健診を各年2回（春・秋）委嘱し、行います。嘱託医は、美園内科クリニック 戸谷真紀先生。歯科医は市の指定で2年毎に変わります。心配なこと、相談したいことがありましたら、健診前にお知らせ下さい。健診結果は、**以上児は出席ノートの健康診断表**、**未満児は「大きくなあれ」**にてお知らせします。確認のうえサインをお願いします。歯科健診で虫歯・その他の診断をされた子には、「**歯・口腔の健康診断結果について（お知らせ）**」を配布しますので、受診後「診療結果通知書」を保育園へ提出下さい。
- 保育士による視診（毎日）
- 身長、体重測定（毎月）
- 尿検査（6月 3歳以上児）
- 肥満度調査（6月 3歳以上児）



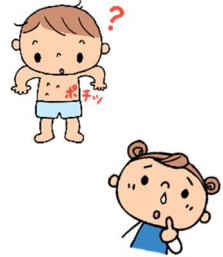
心配なことなどいつでもご相談ください。



## 2. 症状別登園の目安、登園前に体調チェックをしましょう

体調が悪いとき無理をすると、重症化してしまったり、治りかけていた病気がかえって長引くこともあります。お仕事の都合でどうにもならないこともあると思いますが、お子さんが集団生活で辛いかな？給食を食べられるかな？という点を目安にしてみてください。

- ★いつもと違う様子や気になることがあったら必ず教えてください。
- ★「発疹」「目の充血・目やに」などは感染する病気も考えられるので、登園前に受診し、集団生活が可能かどうか医師の診断を受けてください。



### \* 家庭でゆっくり様子をみた方が良いと思われる症状

#### 全身症状

- ・機嫌が悪く元気がない
- ・顔色が悪い
- ・ぐったりしている
- ・食欲がない



- 発熱・下痢・嘔吐
- 咳・発疹
- いずれかの症状がある場合

#### 発熱



- ・朝から37.5℃を超える熱があり、食欲・元気もない
- ・24時間以内に解熱剤を使用した
- ・24時間以内に38℃以上の熱が出た
- ・平熱より1℃以上高い(1歳以下の乳児)

※体温は目安です。お子さんの平熱に応じて判断するようにしましょう。

※解熱しても24時間はおうちでゆっくり過ごしましょう。

#### 咳

- ・夜、咳をして目が覚めてしまう
- ・呼吸をするとゼイゼイ、ヒューヒュー音がし、呼吸困難の症状がみられる
- ・呼吸がはやい
- ・咳に伴い37.5℃以上の熱がある
- ・少し動いただけで咳が出る
- ・食欲がなく、朝食や水分が摂れない



## 下痢

- ・24時間以内に2回以上の水様便がある
- ・食事や水分を摂ると下痢をする
- ・下痢に伴い、体温がいつもより高め
- ・下痢症状があり、朝おしっこがでない



※症状が治まり、普通の食事を食べても下痢がなくなってから登園しましょう。

## 嘔吐



- ・24時間以内に2回以上の嘔吐がある
- ・嘔吐に伴い、いつもより体温が高め
- ・食欲がなく、水分も摂りたがらない

※ 特に、感染性胃腸炎の病後の登園は、**十分休養を摂り、普通の給食が食べられるかどうか**を目安にしてください。

## 発疹



- ・これまでなかった発疹により、感染症が疑われ、医師から登園を控えるように言われた
- ・発熱を伴う発疹がある
- ・口内炎のため、食事や水分が摂れない

### とびひの場合

- ・顔など患部を覆えない場所にとびひができたとき
- ・浸出液が多く、他の子への感染の恐れがあるとき
- ・かゆみが強く、手で患部をかいてしまうとき

〈参考〉 公益財団法人 母子衛生研究会発行

『子どもの感染症と予防接種ガイド』 より


### ★医療機関を受診の際確認していただきたいこと★

- ・他児への感染の恐れがないか。
- ・散歩、外遊びが可能かどうか
- ・夏季は、プールまたは水遊びが可能かどうか









### 3. 登園してはいけない病気

(学校保健安全法施行規則改正に伴い変更)

お子さまが感染症にかかった場合、本人の健康回復と周囲の子どもたちへうつす恐れがありますので、登園を遠慮していただいております。医師の診断及び治療を受けられ、病気が軽快し他の園児にうつす恐れがなくなりましたら、医師より「登園許可証明書」に記入してもらい園へ提出してください。なお、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症については医師に記入を求めない「療養解除届」を保護者が記入して園に提出してください。

病 名	登 園 停 止 の 期 間
インフルエンザ	発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後3日を経過するまで
新型コロナウイルス感染症	発症した後5日を経過し、かつ、症状が軽快した後1日を経過するまで
百日咳	特有の咳が消えるまでまたは5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
麻疹(はしか)	発疹に伴う発熱が解熱した後3日経過するまで
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	耳下腺、顎下腺または舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで
風疹(三日ばしか)	発疹が消失するまで
水痘(水ぼうそう)	すべての発疹痂皮(かさぶた)になるまで
咽頭結膜熱(プール熱)	主要症状が消退した後2日経過するまで
結核	医師により感染のおそれがないと認めるまで
髄膜炎菌性髄膜炎	医師により感染のおそれがないと認めるまで
流行性角結膜炎	医師により感染のおそれがないと認めるまで
急性出血性結膜炎	医師により感染のおそれがないと認めるまで
腸管出血性大腸菌(O-157,O-26 など)	医師により感染のおそれがないと認めるまで
溶連菌感染症 手足口病 感染性胃腸炎(ロタウイルス、アデノウイルス、ノロウイルスの疑いなど) ヘルパンギーナ RSウイルス マイコプラズマ肺炎 伝染性膿痂疹(とびひ) 伝染性紅斑(りんご病)	<p>医師の判断による</p> 

## 4. 子どものかかりやすい病気の症状と注意点

<h3>溶連菌感染症</h3>  <p>39℃前後の突然の発熱 のど痛 体や手足の発疹、莓舌</p> <p>細菌が原因、のどの検査で分かる。腎炎の合併症があるので、早めに受診し治療を。</p>	<h3>手足口病</h3>  <p>口の中、手のひら、足の裏に水泡ができる。時にお尻や膝にも。 37～38℃の熱、口の中の痛み よだれが多い時は、口の中を見てください。 頭痛・吐き気を伴う時は、髄膜炎の合併に注意。 症状消失後も便中にウィルスが2週間位存在するので、手洗いをしっかりしましょう。</p>
<h3>ヘルパンギーナ</h3>  <p>38～39℃の熱 のどの奥に水泡ができて、痛い ひどい時は水分も飲めなくなるので、脱水症状に注意。</p> <p>症状消失後も便中にウィルスが2週間位存在するので、手洗いをしっかりしましょう。</p>	<h3>プール熱</h3>  <p>39～40℃の熱 のど痛 目の充血 目やに アデノウィルスが原因。</p> <p>症状消失後も便中にウィルスが2週間位存在するので、手洗いをしっかりしましょう。</p>
<h3>とびひ</h3>  <p>皮膚にかゆみを伴う水疱ができ、それが破れて次々と広がる 虫刺されやあせもなどに細菌が入り込んでおこる。かきこわさないよう、爪は短く切りましょう。抗生剤での治療が必要、早めに受診を。治るまでプールは不可。</p>	<h3>りんご病</h3>  <p>両頬が赤くなる 頬のほてり 手足の外側に発疹 かゆみ 熱は出ない場合が多い</p> <p>大人は重症になったり、妊婦さんへの感染には注意が必要。1回しかかからない病気でもあるので、りんご病かなという時は、1度診察を。</p>
<h3>マイコプラズマ肺炎</h3>  <p>咳、熱（時に微熱程度のこともある） マイコプラズマという細菌によっておこる肺炎。胸のレントゲンや血液の検査で診断されるので、<u>咳がなかなか治まらない場合は受診を。</u></p>	<h3>RS ウィルス感染症</h3> <p>鼻水や咳などの風邪症状で始まり、ヒューヒュー、ゼーゼーといった呼吸器の症状が出る。 年長児や成人は、症状が軽いが、小さい子は呼吸困難を起こしたりすることがあるので要注意。</p> <p>ヒトメタニューモウイルス感染症も  同様の特徴があり、合わせてご注意下さい。</p>

その他、＜水いぼ＞＜中耳炎＞＜感染性胃腸炎＞などもあります。早めに受診しましょう。

## 5. 投薬について

原則として、保育園では薬の使用ができません。体調が悪く医療機関を受診される場合、必ず、保育園に通っていること、保育園では原則として薬の使用ができませんをお伝えください。そして、できるだけご家庭で（朝・晩、または朝・夕・寝る前）服用できるような薬をお願いしてください。日中どうしても薬を飲ませる必要のある場合は、下記のきまりを守って頂くようお願い致します。

1. 「薬の依頼書」に必要事項を全て記入してください。  
何日か続けて持って来られる場合も毎日記入してください。
2. 病院や薬局から渡された薬の説明書・薬剤情報説明書を必ず、添付してください。
3. 薬は、必ず処方された時の薬局の袋に入れて、1回分ずつ記名してください。  
(シロップの場合は、医師または、薬局に保育園での投与分として別に容器をもらって、その中に1回分ずつ入れてください。)  
以上、1～3を揃えて職員に手渡してください。（7ページ参照）

投薬依頼の確認がとれないものについては、園での投薬はできませんので、宜しく  
お願い致します。

- \* 薬の依頼書は、早朝保育時：利用する保育室、8時30分以降：玄関前に置いてありますので、必要時お持ちください。
- \* 塗り薬・点眼についても同様をお願い致します。
- \* 座薬・市販薬については、対応できません。
- \* 気管支拡張剤等のテープは、テープに名前を書いて本人の手の届かないところに貼ってください。貼った部位を連絡帳に書いてお知らせください。



## 薬の依頼書

令和 年 月 日

医師の診断を受け、下記のとおり指示がありましたので、

保護者 \_\_\_\_\_ の責任において投薬を依頼します。

※該当するものに○、又は明記して下さい。

※病院や薬局から渡された薬剤情報書を必ず添付して下さい。

園児名		クラス名	
病院名		処方日	月 日
病名・症状	風邪・胃腸炎・中耳炎・その他 ( )		
薬の内容	抗生剤・咳止め・鼻水止め・下痢止め・整腸剤 その他 ( )		
薬の種類	粉薬 ( )包	シロップ	
	軟膏 ( )種類	目薬	
投薬方法	食前・食後・その他 ( )		
服用日	月	日	
特記事項			
保育園の記載欄			
受領者サイン	保管者サイン		
投薬者サイン	投与時間 / AM・PM 時 分		

※投薬依頼の確認がとれないものについては園での投薬ができませんので宜しくお願い致します。

※1回分の薬が入った袋自体にも、くみ・日付・名前・食前食後を書いてください。

おくすりの説明 令和 年 月 日  
様

薬品名 剤形色

効能・効果

メイアクト小児用細粒 100mg 細粒 橙色

感染の原因となる病原菌を殺すことにより、炎症など症状を治したり、予防したりするお薬です。

顆粒をつぶしたり、溶かして服用しないでください。

発熱、咳、呼吸困難、むくみ、蕁麻疹、腹痛、激しい下痢貧血などの症状がみられた場合にはご連絡ください。

ビオフィェルミンR 散 白～淡黄褐

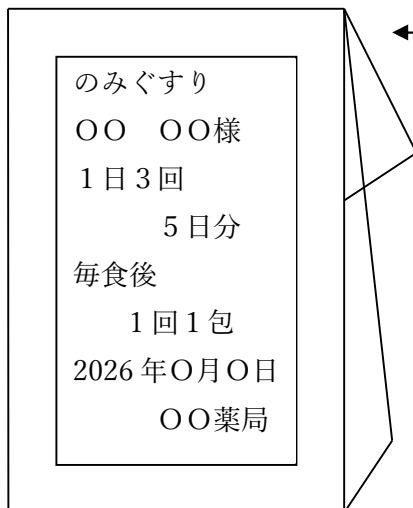
乳酸菌を腸内でふやし、有害な菌の繁殖をおさえて、腸内のバランスを正常にすることで腸の調子を整えます。

1日3回 朝昼夕食後5日分

服用時の注意

1. 他に薬を服用している場合は主治医にお知らせください。
2. 薬の効果を現すために、用法はよくお守りください。
3. 症状が回復したと思っても、医師の指示通り服用を…

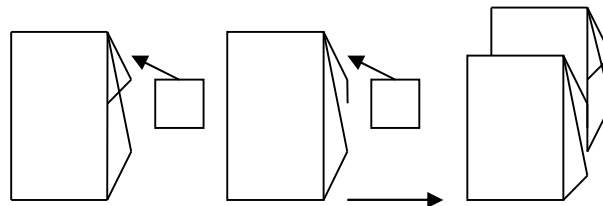
※処方された時の薬局の袋に入れる。



- ・ 名前、くみ
- ・ 日付
- ・ 食前・食後

※ 1回分の薬が、入っている袋に左記のことを記入してください。

※ 薬が2種類以上で、薬袋が複数ある場合1袋にまとめず、入っていた袋に入れてお持ちください。



\*分からないことがありましたら、いつでもお声がけください。

## 6. 感染性胃腸炎予防について

抵抗力の弱い乳幼児が集団で生活する保育園では、下痢便や嘔吐物の処理について特に注意が必要となります。下痢便や嘔吐物の付着した衣類やリネン類について、園内で下洗いしそこから感染が広がったという例が報告され、保健所からも下洗いをしないよう指導がありました。つきましては、下痢便や嘔吐物の付着した衣類やリネン類は下洗いをせず、ビニール袋に入れて持ち帰る旨、ご理解をお願いします。ご家庭では家族内の感染防止のため、下痢便や嘔吐物が付着した衣類やリネン類を、消毒のうえ洗濯されることをおすすめします。(9ページ参照)

※嘔吐物が他児の衣類にかかってしまった場合、そのお友達の衣類を持ち帰る事もありますので、合わせてご理解をお願いします。

### 【ノロウイルスについて】

ノロウイルスは手指や食品などを介して、経口で感染し、人の腸管で増殖し、嘔吐、下痢、腹痛などを起こします。症状は、通常、2日間程度で回復しますが、回復後も、ウイルスは、2週間から1ヶ月くらい便中に排出されることがあります。

#### 感染経路

- ①ノロウイルスが付いた食品を食べた場合
  - ・ノロウイルスに感染した人が手洗い不十分で調理を行った場合
  - ・加熱を十分行わなかった二枚貝（カキなど）を食べた場合
- ②人から人へ感染する場合

感染者の嘔吐物や便の処理の際に感染したり、処理を適切に行わないと感染が拡大します。



感染予防の基本は「手洗い」です。2度洗いが有効です。

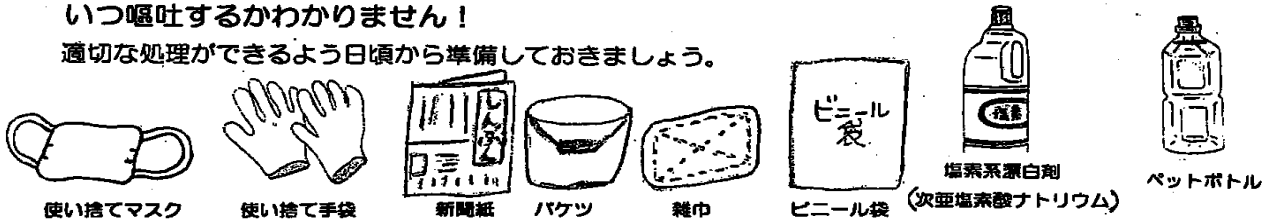
◇トイレの後、調理前、食事前は、石けんを用いて流水で十分に手を洗いましょう。

◇下痢便、嘔吐物の処理をした後も必ず手を洗いましょう。

# 【嘔吐物の処理のしかた】

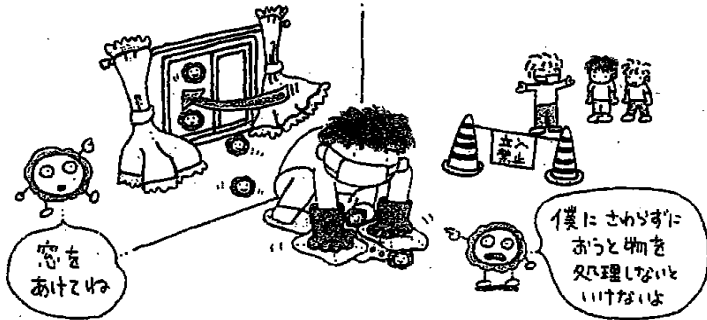
“お子さんが突然、嘔吐した場合”  
ノロウイルスを疑って処理をするほうが安全です

いつ嘔吐するかわかりません！  
適切な処理ができるよう日頃から準備しておきましょう。



## ～嘔吐物処理のポイント～

● 覆う・換気 ● 拭き取り・消毒 ● 手洗い

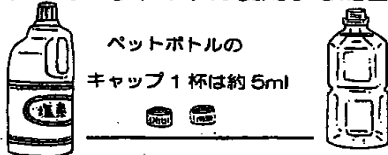


- 1 嘔吐物を新聞紙などで覆い、換気
- 2 手袋・マスクなど身支度を整えましょう
- 3 嘔吐物を拭き取り、ビニール袋に入れ密封
- 4 嘔吐物で汚れた床は塩素系漂白剤 0.1% 溶液に十分浸した雑巾で広範囲に10分間覆う ⇒ その後、水拭きをする
- 5 使用した雑巾や手袋・マスクをビニール袋に密封し廃棄する
- 6 処理後はしっかり手洗いを！

### 《家庭用塩素系漂白剤の調整方法》

0.1%溶液を作るには → ハイター・ブリーチを50～60倍希釈にする

■ 500mlのペットボトルを使用する場合



ペットボトルのキャップ2杯(10ml)の漂白剤を入れ、水を加えて全量を500mlにする



ペットボトルに作った消毒液は誤って飲んでしまうことがないように、管理には十分ご注意ください。

0.1%溶液を5倍希釈すると0.02%溶液になる

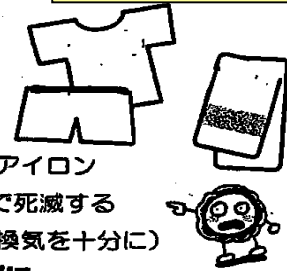
### 《嘔吐物で汚れた衣類など》

できる限り汚物を拭き取り、塩素系漂白剤(0.02%溶液)で10分間浸け置きし(色落ちすることあり)その後、他の洗濯物と分けて洗濯。

### 《布団やじゅうたんを汚した時》

スチームアイロンを用いると効果あり。汚物を拭き取った場所にスチームアイロンを1分以上あてる。 ※ノロウイルスの場合85℃・1分以上の加熱で死滅する  
その後、日光に当て十分乾燥させる(布団乾燥機を使う場合は窓を開け、換気を十分に)

処理する際、感染しないよう手袋・マスク・換気を忘れずに。



- ※ 色落ちする衣類などは、熱湯(85℃・1分以上)での消毒をおすすめします。  
例えば、ビニール袋に衣類を入れ、その中に熱湯を注いで密閉する。
- ※ ノロウイルスは、アルコールでは消毒効果がありません。

## 7. 保育中のけがについて

園で応急処置を行います。帰宅後に必ず傷の確認と手当てをお願いします。医療機関に受診する必要があるけがの場合は、すぐに保護者の方に連絡しますので保険証を持っておいでください。

★けが等の発生に備えて園のお子さま全員が「日本スポーツ振興センター」の災害共済給付制度に加入しています。



日本スポーツ振興センター

「災害共済給付制度」について



治療にかかった医療費は、皆さんに加入していただく日本スポーツ振興センターから給付されます。

- ① 医療機関の窓口で、保険診療の対象となる医療費の10分の3を支払って下さい。
- ② 日本スポーツ振興センターから保険診療の対象となる医療費の10分の4（10分の1は見舞金）が後日支給されます。

※受診の際には、保育園でのケガであることを伝え、「子どもの医療費助成制度」は利用しないで下さい。ただし、5000円（窓口払いが1500円）未満の場合は対象となりませんので、その場合は、「子どもの医療費助成制度」をご利用下さい。

※初年度に同意書を書いていただき、次年度からは共済掛金を納めることで、加入が継続されます。

共済掛金（年額）は、保護者負担額 240円（新保保育園負担額 125円）です。

※給付手続きについては、受診時にご説明します。

園は子供達がそれぞれにかかわりあいながら、様々なことを試し、興味を広げ、育っていく場所です。活動に伴うケガ（頭や歯、骨折、肘がはずれる等）、かかわりあいに伴うかみつみやひっかけ、けんかなどは起こります。

感染症と同様、マイナスにとらえてしまいがちですが、「まだ無理かな…。でも、やってみよう！」と試してみたらできた！という体験が子どもの育ちにとっては何より宝物です。その中で、危険なこと、ケガを防ぐ方法、人の痛みを思いやることを学んでいきます。そして、子どもは、「自分にとってできることと、まだ難しいこと」の線引きも理解していきます。大きなけがを防止しつつ、なんでも試せる、なんにでも興味を持つ子どもに育てて欲しいと思います。

## 8. 病児・病後児保育について

園に通園しているお子さまが、病気等により集団保育が困難であり、保護者の勤務などで家庭での保育ができない時に、一時的に保育を行います。

### (ア) 実施施設

#### 長岡市 病児・病後児保育実施施設一覧

施設名	所在地	電話番号	病児保育	病後児保育
生協こどもクリニック 病児保育室すこやか	沢田 1-1-20	(0258) 33-7090	○	○
長岡福祉協会 病児・病後児保育施設 すくとく	深沢町 2278-8	(0258) 86-7933	○	○
東部どんぐり保育園 病後児保育室にこにこ	四郎丸 2-3-25	(0258) 34-8088	—	○
芳香稚草園 病後児保育室「豊愛」 森のこかげ	栄町 3-4-7	(0258) 53-2303 52-1768	—	○
恵和こども園 KEIWA ナーサリールーム	蓮潟町 312	(0258) 28-2768	—	○
こどもけやき苑 クリームおばさんの病 後児保育室	槇山町 1593-1	(0258) 29-2510	—	○
東部川崎保育園 病後児保育室	川崎 3-2388	(0258) 89-6658	—	○
くろじょうこども園 病後児保育室 うらら	黒津町 377	(0258) 24-8703	—	○

(イ) 利用料金 1 日 2000 円 (昼食は別途ご用意ください。)

### (ウ) 利用方法

事前登録が必要です。医療機関で受診した際、担当医から医師連絡票を記入いただき、実施施設に予約をしてください。(利用定員があります。)

医師連絡票については別途文書料がかかる場合があります。

お問い合わせは実施施設、または保育課 (TEL39-2219) へお願いします。

※詳しくは長岡市ホームページ→メニュー→子育て・教育→子育て→保育園等の制度、入園手続きなど→病児・病後児保育事業に掲載されています。

## 9. 予防接種について

乳幼児は、感染症に対する抵抗力（免疫力）が弱いため、長時間一緒に生活する園ではさまざまな感染症が起りやすくなります。入園時と毎年1月に予防接種歴を確認し、園の感染症の予防・拡大防止に努めています。予防接種歴調査票を配布しますので、母子手帳を確認のうえ、記載をお願いします。



### ●重い感染症から子どもの健康を守ります

予防接種で免疫を付け、お子さんも、周りのお友達にも感染する病気を予防しましょう。適切な時期に早めに受けるようにしましょう。

### ●重症化を予防します

インフルエンザワクチンは、接種しても罹ることもあります。インフルエンザ脳症等の重い合併症を予防するためにも、接種をおすすめします。

### ●接種はお子さんと一緒にいられるお休みの日や降園後に

接種後は接種部位が腫れたり、発熱があったりと体調が変化する可能性があるため、接種後はゆっくりおうちで過ごすようにしましょう。

## 10. 感染症発生状況ボードについて

現在発生している感染症による学年毎の欠席者数をボードでお知らせしています。（玄関の給食サンプルケースの上の壁にあります。）園では、市内全体の発生状況も毎日確認し、市内で流行中の感染症についてもお知らせをします。また、コロナとインフルエンザの流行時には市内全体の欠席者数も掲示していますので、参考にしてください。

○/○
インフルエンザ
うちゅう ○人
胃腸炎
つき ○人
にじ ○人
コロナ ○人

## 11. 食物アレルギーについて

★食物アレルギーのあるお子さんは、必ず園にお知らせ下さい。

給食での対応の有無にかかわらず、医師により記載された『保育園等における生活管理指導表』が必要になります。園に提出していただき、詳細について相談のうえ、対応いたします。

★園での給食を安全に提供するため

毎年年度初めに、書面にて食物アレルギーの有無を確認させていただきます。

初めて食べたもので、アレルギー症状が出ることもあります。献立表を確認していただき、食べたことがない食物は事前にご家庭で食べてみていただくようお願いします。